



水木浜の朝日

(撮影:若松 友子)

## 水の思い出

～14～

1970年頃、子ども時代を過ごした家は海の近くにありました。夏になると、近所の遊び友だち数人で、水着にはだしのまま、何も持たずに海岸へと通ったものです。

当時、道路は土とジャリの道で、車の通りもあまりなく、子ども達には交通も安全でした。

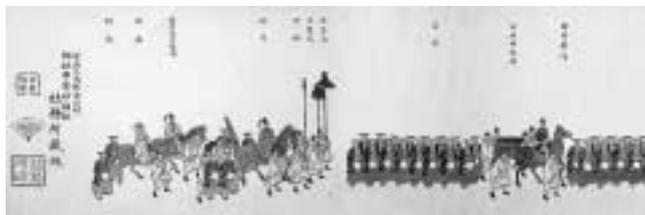
急な細い下り坂の先に広がる白い砂浜には、木の小舟が並んでいました。岩場には、カニや魚がたくさん見え、透き通った波は、美しい貝がらを浜辺へ運んでくれました。

打ち寄せる波の音に揺られながら、ゆっくりと流れる時間の中で宝物を見つけたようなワクワクする気持ち。ただ楽しむことを存分に味わうことのできた幸せな時代です。

海岸入口の崖の下に井戸くらいの大きさの洞穴があり、ひんやりとしたきれいな泉が湧いていました。まわりには野草や苔がキラキラと命の輝きをたたえていました。その水でからだを洗い、来た道を楽しく帰って行ったものです。美しい水は、すばらしく大きな恵みでした。

(若松友子)

# 大祭礼を見にいこう!!



## 豊かな森は豊かな海を生む 理念で磯出を

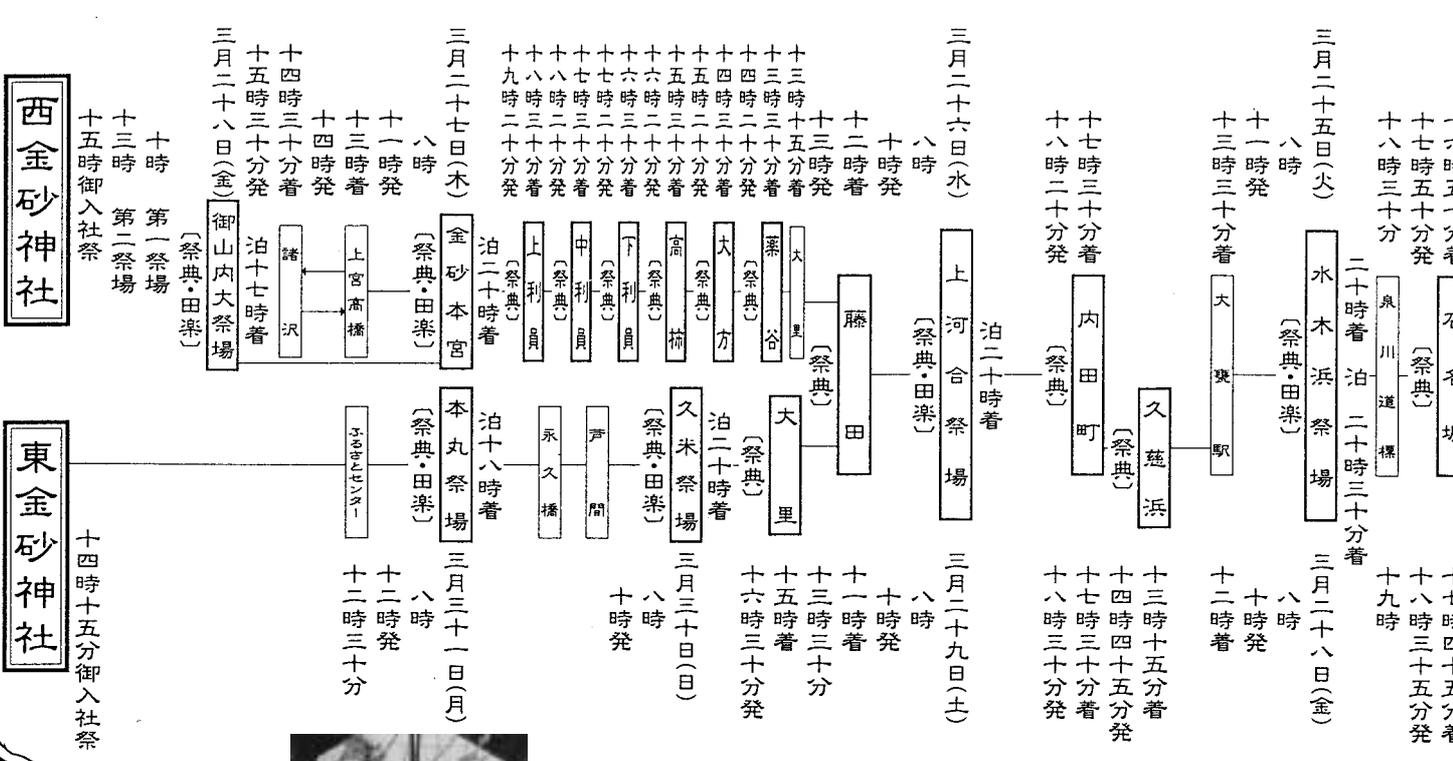
第17回金砂大田楽磯出浜おり行事が来る3月22日から31日までの10日間行われる。

この郷土が誇る、歴史～民俗的な平安時代から受け継がれている伝統行事を、振り返りつつ前を見る2003年の意義ある節目とし、更なる郷土の検証をしたい。

それは、花園、堅破、東・西金砂、真弓の常陸五山の豊かな緑と山岳信仰等を背景として、天下泰平・五穀成就・萬民法楽を祈念しつつ、神輿を中心に大行列が水木浜へ下り、磯

出の神への想いをめぐらす悠久の歴史検証のロマンである。そこには、72年毎・未年実施論やアワビ～磯亀等の伝説が出てきて、天体軌道と陰陽説等に想いがいたし、暮らして生命に及び、松井孝典氏の言う「自然古文書」を見る思いがする。国選択無形民俗文化財田楽舞は、人々の自然への賛歌と感謝の念並びに暮らしに生かす心の躍動であると認識している。自然環境が変化しつつある昨今、今回行われる他に例を見ない、全行程80kmに及ぶ山と里と海のまつりは、豊森～清流～豊海の基本理念を踏まえて行われるよう願っている。(川上 千尋)

## 西金砂神社 東金砂神社 第十七回 磯出大祭礼



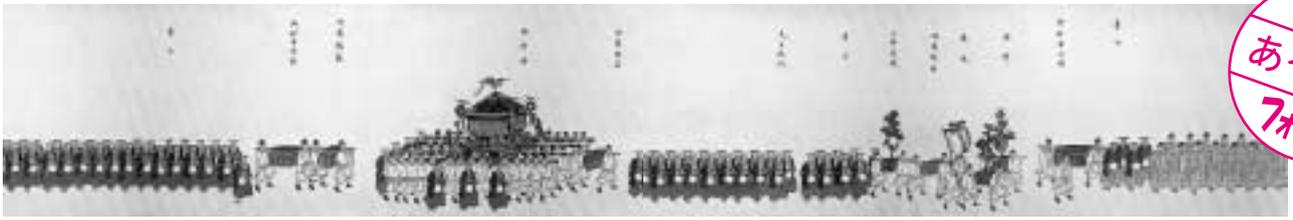
上河合仮殿



上河合仮祭場玉串奉典



「昭和6年東金砂神社磯出大祭礼行列絵巻」(先頭は8ページからだよ)



昭和6年(第16回)の時に東金砂神社で制作した「絵ハガキ」です。当時の様子が良くわかります。

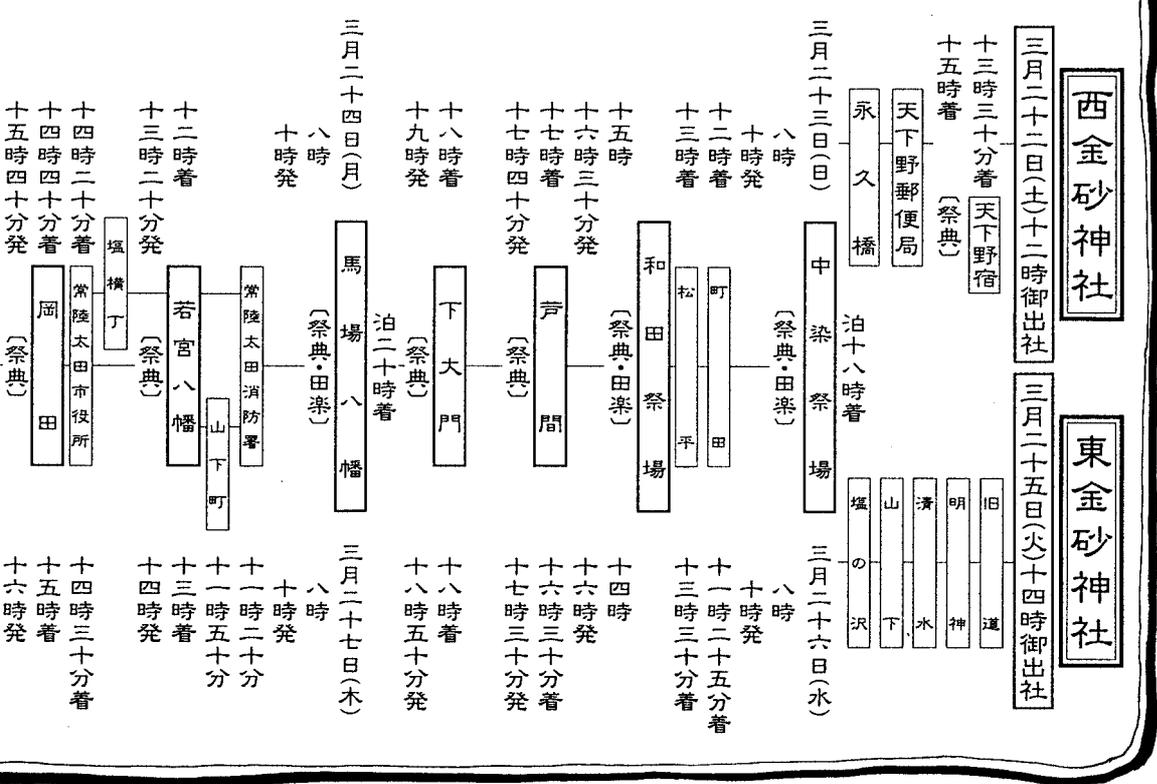


中染祭場田楽



町田行列

### 供奉行列 順路日程表



期間中は混雑が予想されます。交通規制や田楽会場では入場制限があるかもしれません。自転車や徒歩での見学がおすすめです。

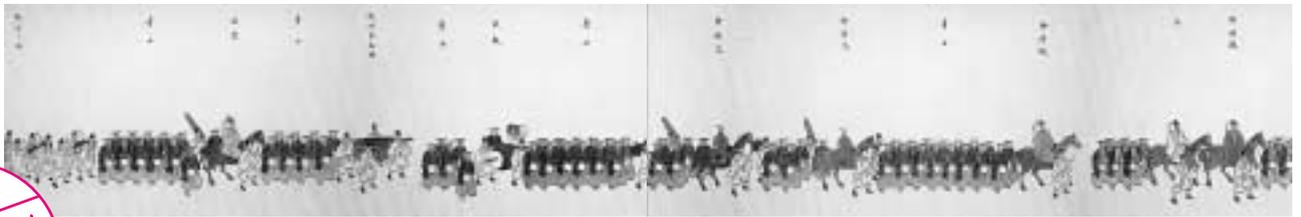
トピックスー  
3/24(月)と3/27(木)の馬場八幡宮での田楽の様子を、生涯学習センターふれあいホールで同時中継する計画があるそうです。



太田町東坂通過

和田祭場線込





4  
 こんにちは  
 7分

# 水府の赤い彗星!

☆ 〈長嶋修一さん〉

「お祭りなんです、年1回の。7時間走り終えた時の仲間との一体感や感動をみなさんに伝えられたら。」謙虚な青年から、静かなる自信と経験が伝わる。純粹さは凄みを増す。「きっと速いんだろうナァ。どんな世界なんだろう？」

「もてぎ7時間耐久ロードレース」参加台数は全国で280台にもおぼり、直線距離では最高速度が300kmにも達するほど、危険と隣り合わせの苛酷な世界。上位入賞をめざす長嶋さんは、他のライダー2人と共にアマチュアチーム「モトアルファ」の一員だ。

メカニック、ヘルパー、ライダーetc. チームが一丸となって成し得るため、半年以上前から準備ははじまる。



「おとしは、10位以内でしたが、ラスト10分でエンジンが壊れリタイヤ。みんなで泣きました。去年は転倒、最高順位が5位だったんですが。」

進化する長嶋さんの職業は、実は水府で建築塗装業を営む。忙しいかわら年1回の祭りのため今日も夜おそい。

「レースに興味のある方、一度見てください。言葉ではうまく言えなくて。同時にスポンサーも探しています。」との事。

今年も8月24日に開催されるレースの準備は、すでにはじまっている。「ケガしない様に頑張ります！」飾らない人柄は普通の人だ。でも輝いている。  
 (沼田高宏)



## 太田水石会

(水石に魅せられた仲間たち)

太田水石会は、水石ブームの昭和41年市内に在住する石に関心のある人達20数人があつまってつくられた歴史ある団体です。

それから37年、現在は4代目安藤政蔵会長を中心に活動を続けております。

会の主な事業は市産業文化祭時の水石展示会、遠隔地の探石行(一泊)、水石の見分、養石、観賞、その他小グループでの探石会など行なっております。

水石の楽しみはなんといっても探石です。山や川の自然の中で宝さがしができることです。自分の思いにかかった石を拾いあげたときの喜びは想像に絶する壮快な気分です。

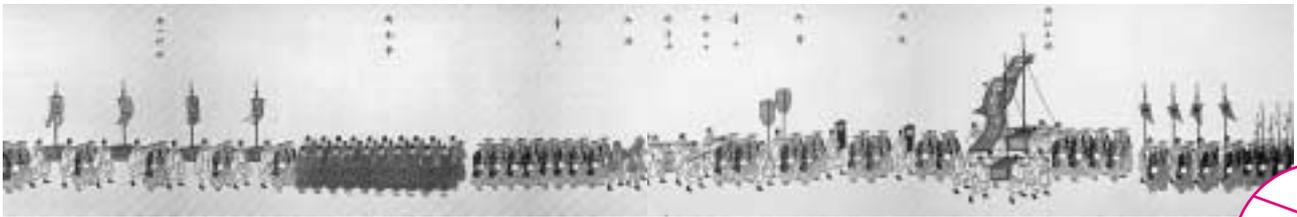
水石に興味ある方、会に入って一緒にロマンを求め探石に挑戦してみませんか。老若男女を問わず歓迎します。



問い合わせ先 太田水石会事務局

石塚 弘 方 TEL 72 - 2927 / FAX 72 - 2948





5  
ふれあい  
ファンズ

### 学び舎から 河内幼稚園

### 未就園児との交流 ~ちびっ子集まれ~

本年度、地域の未就園児との交流保育「ちびっ子集まれ」を、月1回行なっています。これは、まだ幼稚園に入っていない河内地区の子ども達を幼稚園に招いて、園児と一緒に楽しく遊ぶひとときとしています。

今月は、「すごろく」と「絵合わせ」であそびました。この日ばかりは、いつもの園児の姿とは違い、おにいさん・おねえさんぶりを発揮します。

「はい、ちゃんの番だよ。」と、サイコロを手渡したり、「ここは1回休んだよ。」と、先に進もうとする未就園児に教えたりして、やさしく親切なおにいさん・おねえさんになってはりきって活動しています。

これまで、ゲームや粘土、砂遊び、楽器遊びなどをしてきました。また、夏祭りでは、一緒におみこしをかついだり、秋には収穫したサツマイモを焼き芋にして一緒に食べたり、冬の発表会を見せたりと、園児達は、小さなお客さん達との交流を楽しんできました。そして、『ちびっ子集まれ』の回数を重ねるにつれて、小さい子を思いやり、やさしく接することができるようになってきました。



### 学び舎から 佐竹小

### ~ピッピコンサート~

体育館での音楽鑑賞にはやや寒さがこたえる季節ですが、ぜひ子どもたちに聴かせたいとPTAの招きで1月25日にコンサートが行なわれました。

すでにご存知の方も多いためですが、ピッピコンサートとは心身にハンディのある方とその家族から寄せられた

「夢や希望」を、メロディにのせてたくさんの人に伝えたいという思いでボランティアにより進められているものです。



木村美里（3年）

世界にはいろんなしょうがいをもっている人がいるとわかってとてもよかったです。

スタッフの人は声がそろっていてもよかったです。

たとえどんなしょうがいをもってもなかなまはずれにしていけないとわかってはいたが、なかなまはずれにされた人がどんなにかなしいかわかるとてもいいきかでした。

### 子育て奮闘記

## 踊るママパラダイス ①5

隣の家のお嬢さん二人は、高校生です。11年前、私がお嫁に来た時は、「まだ小さい子」だったのに上のお姉ちゃんはこの春将来のために遠くにお勉強に行きます。感慨深いけど、ご両親はもつと感ずることが多いでしょう。

私は、時々、家族そろって庭の手入れをしたり、楽しそうに声を掛け合うお隣の家を眺めていました。それは、かつて私の実家で繰り広げられていた光景のようで、もう戻れない寂しさや、それでも色鮮やかに思い出せる懐かしさや「憧憬」という言葉が一番合いそうです。ご近所の評判も良く、押しつけではない優しさをいつも向けてくれるご夫婦が育て上げたお嬢さん達は、「お父さんとお母さんが大好き」なのだよく分かります。だからきっと、二人が大人になって何かあったとき、真っ先に思い出すのは家族なのではないかと思うのです。

看護学校の寮に入ったときも、看護婦の寮に入ったときも、希望にワクワクしながらも父を想い、母を想い、泣いたのを思い出します。幸せな今でさえ育った家を思い出します。そうしながらも私は、自分の子に思い出せる場所をつくる番なのだと考えて立ち上がるのです。

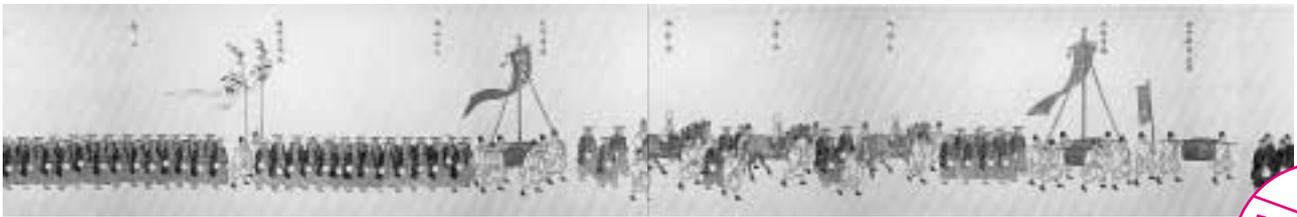
旅立っていく皆さん、おめでとう。帰る場所、待っていてくれる人がいれば乗り越えられる壁があるよね！そして、私と同世代のこれから旅立たせる皆さん、子ども達に帰る場所と迎える笑顔を残せるようにまず自分が幸せにしましょうね！

常陸太田子どもの劇場 織田 裕子

### 我が家の美しい思い出







7  
みんなあつまれ  
ファンズ

常陸太田市

# 体験・ボランティア活動支援センター

子どもたちの、体験活動・ボランティア活動を支援します！

「きっかけは、きっとここにある！」

ボランティア  
活動をして  
みたい



楽しい体験  
活動の情報が  
知りたい



常陸太田市体験・ボランティア活動支援センター

文化・スポーツ活動	社会福祉・環境学習活動
<b>常陸太田市体験・ボランティア活動支援センター</b>	
(常陸太田市生涯学習センター内)	
〒311-0061 常陸太田市伊勢町3280番地	
●開館日時 火曜日～日曜日 (休館日の場合は事前連絡) 午前10時から午後5時まで	●電話 0294(72)8888 0294(73)2409 ●FAX 0294(72)8880
●発達支援活動	●国際交流・国際理解活動
●芸術鑑賞活動	●生涯学習活動

「体験・ボランティア活動支援センター」では、こんなことを行っています

- ・専門のコーディネーターがいます。
- ・会場における、さまざまな体験活動やボランティア活動の体験・参加。
- ・体験活動やボランティア活動の開催を希望している方や団体の発案・紹介。

情報をお持ちしております  
(パンフレットは無料です)

- ・「情報部、団体情報」  
子どもたちに体験活動やボランティア活動の概要をしていただけるボランティアや団体の募集
- ・「活動、施設情報」  
子どもたちの体験活動やボランティア活動を受け入れてくれる活動や施設情報

## 親子で楽しめるマウンテンバイクレース うっかり八兵衛カップ 春休み編

と き：4月6日(日) 雨天決行

と ころ：増井町 ふるさとの森 マウンテンバイクトレール  
(受付：瑞竜霊園駐車場)

親子リレー「お父さん ガーデニングって知ってるの？」  
小学生とお父さん(またはお母さん)

参加費 2000円/親子2名

小学生、お父さん、それぞれコースを1周しながら“土”とか  
“鉢”を見つけよう！

2人で寄せ植えをきれいに植えてゴール

忙しい方の代わりにスタッフが走る“代理オヤジ”やっ  
てます。

ヘルメットがない方には無料で貸し出します。(数に限り  
があります)

「3時間チームエンデューロ」もあります。

お問い合わせ 〒311-0321 常陸太田市春友町884  
常陸太田市体育協会MTB部 武藤邦宏

TEL & FAX (0294) 78-0532

メールアドレス musaz@h5.dion.ne.jp

うっかり八兵衛カップ・各種情報掲載のホームページ  
<http://www.seizanso.co.jp/mtb>



常陸太田市郷土資料館特別展

### 「磯出と神幸— 市域と西・東金砂神社の様相—」

会 期 平成15年2月15日(土)～3月29日(土)

月曜日休館(但し3月24日は開館)

開館時間 午前9時から午後4時30分

市内の神社でも、西・東金砂神社のような磯出行事が行われ、水木浜や久慈浜、磯浜などに社したり、町内を神輿が渡御していましたが、小目町の鷹房神社では、毎年4月の春の例祭に磯降り稚児行列が行われており、宮本町の若宮八幡宮では、旧太田町内16町を巡る神幸祭が行われているなど、形を変えながらも続けられているところもあります。

特別展では、これらの市内神社の磯出と神幸を紹介しながら、西・東金砂神社の大祭礼についてもあわせて展示します。



鷹房神社(小目町)の磯降り稚児行列





8  
おすすめ  
ポイント

リレー  
エッセイ 「思い出の絵本」～15～ (西河内下町) (根本 幸恵)

私が4才だった頃、1ヶ月程肺炎をこじらせて入院したことがありました。来る日も、くる日も、注射と白い天井と、母親を相手におとなしく寝ていた子だったと思います。

入院して何日か経った頃、母が絵本を2冊買い与えてくれました。家が貧しかったので生まれて初めて買ってもらった本だったと思います。絵本は「ヘンゼルとグレーテル」と「ぶんぶくちやがま」でした。殺風景な病室で彩色の美しい2冊の本は、それこそ輝いて見えました。私は固いベッドの中で、ヘンゼルといっしょに森をさまい、ぶんぶくちやがまと切ない気持ちで綱渡りをしました。私がせがむと母は何度でも読んでくれました。

いつもベッドの枕元に置いて寝た2冊の本は、宝物というより「友達」でした。だから私はこの「友達」が来てから退屈することなく入院生活を終えました。

40才になり、生活は豊かになりました。家を新築し、溢れかえる本を収納する部屋も用意しました。でも、大きな暖かいベッドで眠りにつくたび、あの幼少の頃の入院生活が、妙に懐かしく幸せな思い出としてよみがえります。そして満ち足りた生活の中で不安と不満ばかりを募らせる自分に警鐘を鳴らしてくれているように思うのです。

(次回は、栄町 黒沢理絵さん)

ヘンゼルとグレーテル



ぶんぶくちやがま

ほつ  
とひといき

ヤブコウジ  
(ヤブコウジ科)



冬山に入ると枯れた葉の間に小さい草のような低木に赤い実が2コ3コついていて美しい。万葉集では山橘で詠まれている。

「消残りの雪にあへ照るあしひきの やまたけはな つと っ き 山橘を裏に摘み来な」

赤い小粒の実が残雪に映えて美しいから裏山に見に来て下さいなど。(万葉の秀歌より)

藪柑子で小さい実を かんきゅうい 柑橘類と見て名づけた。高さ20cmで低木。別名十両ともいう。百両はカラタチバナのこと(千葉以南に自生。園芸種として売られている)。他にアカタマノキ、深見草などの名がある。

遠き日の小さき恋や藪柑子 鈴木龍江(俳句歳時記より)  
(文・写真 桐原弘)

ちよつとひといき

ギャラリー杜の詩



西河内中町 35-4  
TEL 78-0177  
■営業時間  
9時～18時  
■水曜日定休

町屋から西河内の坂を約1km上って右カーブの所、木々に囲まれた中に「ギャラリー杜の詩」があります。「熟年の方々にも、ゆっくり楽しんで頂けたら」とおっしゃるオーナー。扉を開けると、コーヒーの香りに包まれ、オーナー自ら描かれるやさしい顔のお地蔵様たちが迎えてくれます。他にも益子焼きの器や小物が置かれ、常連の方々が「ちょっと秘密にしたいお店」と話されるのもうなづけます。10席程の店内では、ランチ(11時～14時)やケーキセットも楽しめ、ゆったりと流れる時間を、静かに味わえる雰囲気いっぱいのお店です。

(後藤百合子)

